

1. 件名：
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所の防災訓練実施結果報告書（案）の概要説明について
2. 日時：
令和4年1月6日（木）10時00分～11時30分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所（以下「大洗研」という。）
技術副主幹（2名）、マネージャー（1名）
5. 要旨：
大洗研より、防災訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
主な内容は、以下のとおり。
 - （1）訓練実施日
令和3年11月9日（火） 13時10分～17時06分
 - （2）想定した原子力災害の概要
地震発生を起因として、運転中の「常陽」及び廃止措置中のJMTRにおいて施設敷地緊急事態（SE）及び全面緊急事態（GE）に至る原子力災害
 - （3）主な訓練成果
 - ・ 事項対応において関連する部署（現場指揮所、大洗研現地対策本部、機構対策本部及び規制庁ERC）内で、発災施設（「常陽」、JMTR）の弁別を明確にした情報共有や事故対応ができた。
 - ・ 特に、前年度から改善を図った事項（施設毎に規定したEAL番号への慣熟）の有効性を確認できた。

原子力規制庁からは、大洗研においてはHTTRが再稼働しており、今回の訓練で示された様な指揮所及び現場での良好な事故対応を維持、継続するように助言した。
6. その他：
配布資料なし。